

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100708
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム 清滝
所在地	鹿児島県鹿児島市西千石町13番30号 (電話) 099-213-9950
自己評価作成日	平成26年6月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念に・尊厳を持ってその人らしい暮らしができるようにお手伝いします。
・ゆったりと暮らせる環境を一緒に作っていきます
・地域の一員としての橋渡しを行います を掲げ、ご利用者様、ご家族様との関係性を大切にしています。行事もご家族様参加型の行事に取り組み、利用者様の日々の暮らしを知っていただいたりご家族様との時間も大切にしています。位置も鹿児島市の中心に位置し、交通の便にも恵まれているため、木市やおはら祭りなども徒歩で行ける距離であり、外出などしやすい環境です。行事なども、通所介護事業所や、サービス付高齢者専用賃貸住宅との合同での行事やレクリエーションなどの交流を行っています。病院が併設であり、定期的受診や緊急時にも対応ができ安心して生活ができます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは鹿児島市の中心市街地に位置し、母体医療法人は古くから近隣住民には馴染みの医療機関である。街中ではあるが自治会にも加入しており、事業所の行事へ参加してもらったり、地域の小学校の運動会に出掛けたり、散歩時には地域住民と交流するなど地域との交流はできている。
職員を研修にも参加させて質の向上に積極的に取り組んでいる。また職員は利用者一人ひとりに合わせて、ゆったりと仕事ができることで、利用者へのケアに思いやりをもって支援できている。
母体医療機関が隣接しているので緊急時の対応にも安心が得られ、緊急時は24時間対応できる体制もとられている。
外出行事は家族参加型を取っており、離れている家族と共有の時間を過ごしてもらい安心した生活環境を与える工夫も支援している。
管理者は重度化や看取りにおける支援もホームで出来る最大限の支援に取り組む姿勢である。「地域の一員としての橋渡しを行います」の理念の下、管理者や職員は地域密着型サービスの意義を踏まえ、前向きに様々な取組みを模索検討しながら支援しているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	当ホームでの掲げている理念を元に、地域密着型サービスとして年頭におき、いつも見れる位置に掲示し、掲示をして、全職員共有して実践につなげるよう努力している。	毎月の職員会議でも振り返りの機会として確認するなど、理念の共有と実践に繋げている。理念は玄関・各階に掲示され、パンフレット・案内書にも明記されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当ホームの理念の中にも「地域の一員としての橋渡しを行います」と掲げており、緊急時の協力体制や運営推進会議のみでなく、地域の一員としての関わりがあるように努力している。	町内会に加入し、地域の行事にも出かけている。事業所の夏祭りに地域の方へ声かけを行い参加してもらっている。ホームの理念の下、地域の一員としての関わりに努力していて、町内会長との関係は特に密接で日常的な交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	御家族様や会議にて出席頂いている民生委員さんへも認知症の方の症状や当GHでの具体症例を元に認知症の方への理解や協力体制の支援を頂けるよう努力し、職員自身も認知症に対して勉強し、自己研鑽に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において運営状態の報告だけでなく、行事報告や事故報告を元に原因や対策等、民生委員や地域包括よりご意見を頂き、現場でのケアに生かせるよう努力している。	町内会長・民生委員・行政・地域包括センター・家族等の参加で会議を開催している。参加者からの議題提供も有り、インフルエンザ・感染症などの新聞チラシを持参されたり、意見・要望も多く、利用者へのサービスの質の向上・ホームの運営に多いに活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営規定の変更や改正、事故報告など密に連絡、報告を行い、ご意見を頂いている。	電子メールで情報交換をしている。質問等にも連絡を取り合い解決している。事故報告などは電話で報告している。日常的に連携をとり関係は密であり協力関係ができている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の定義を常に職員が閲覧できる状態にしてあり、毎月の勉強会にも取り入れ、自己ケアへの振り返り、職員会議や勉強会、随時スタッフミーティングを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月の職員会議でも勉強会を実施しまたミーティングでも話し合い、職員で理解しケアに取り組んでいる。長時間の車椅子の座位も普通の椅子へ移動して頂いたり、言葉の遣い方も気を配りながら、職員同士で話し合いケアしている。昼間の施錠はしていない	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修を行い、実際のケアの中で言葉かけなども虐待になっていないか、スタッフ同士でも声を掛けあい、指導を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、利用者様で制度を利用はされていないが、職員は外部研修や勉強会を通して、制度な大切さを学びケアに活かせるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際や改正の際など、重要事項説明など文章にて十分に説明し不安のないように説明、同意を得、交付している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談窓口を設け、協力機関とも連携し、ご家族様が随時、相談、要望へ対応できるよう支援しており、運営推進会議などとうして、報告等も行っている。</p>	<p>利用者からは日常の会話の中から意見・要望をくみ取っている。利用者家族からは日々の面会で関係作りを密にして、思いを引き出し意見・要望を聞いている。玄関にある職員の写真掲示はその要望案で作成されたものである。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回職員会議や勉強会、スタッフカンファレンスの機会を設け、また、必要時は責任者会議にて法人全体に提案させていただき、意見が反映されるように支援している。</p>	<p>毎日のケアに携わっている職員が一番意見・要望をもっているため、管理者はその意見を元に会議にかけ反映させている。出された意見・要望については可能な限り改善・実現に向け反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員がやりがいや向上心を持って働けるよう、外部研修を提示したり、有給休暇をとれるような職場環境づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム内部の勉強会だけでなく、法人の勉強会、外部の研修会を提示し、職員個人の力量を把握し、スキルアップにつなげられる様努力している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他GHと運営推進会議に相互参加をし、意見交換を行い、サービスの質を向上させていく取組を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>介護支援計画作成においても、本人の思い、ご家族の思いを大切にし、関係づくりに努めており、アセスメント、モニタリングにて随時見直しを行って支援している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用契約前においてもご家族様の声やご希望をお聞きし、契約後も相談窓口をたて、良い関係性が保てるように支援する努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様、ご家族様が必要としている事や不安としている事をアセスメントやモニタリングだけでなく、日々の面会時などにおいても本人様の状況をお伝えするようにし、その時に必要とされる支援ができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は利用者様本位で、利用者様の生活の場で支援させていただいていることを念頭におき、共に支えあう関係性が築けるよう自己の振り返りを行いながら支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の想いや絆を大切に、行事等にも参加していただいている。現在の支援状況と今後の本人様、ご家族様の想いを随時に相談できる環境をつくり、ケア支援できるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様がこれまで生活されてきた自宅や馴染みのある物（家具、食器、写真など）への想いや気持ちを大切に、環境づくりにおいても受け入れさせていただいており、関係が途切れないよう支援している。	利用者は近隣からの方が多く行きつけの理美容院やスーパーへは歩いて行き馴染みの関係を継続出来る様支援している。地元の友人の面会もある。墓参りなどにはご家族が連れて行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の関係把握に努め、その方の想いや意思を尊重し、孤立しないように、職員も介入しすぎず、利用者様同士も支えあえるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も本人様の状態報告をしていただいたり、相談、援助に努めており、良い関係性ができていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の思いを重視し、希望や不安を言いやすい環境づくりにも努めている。自分の気持ちを表現しにくい方や言葉が中々でない方などは言葉だけでなく、バイタル変化などからもその方の変化に築けるように支援する努力をしている。	日常の会話や言動・行動・表情から思いや意向を把握できるように努めている。本人からだけではなく家族や関係者からも情報を収集している。難聴や目の不自由な方からは思いや意向を本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントシートや課題分析票を元に生活歴や仕事内容にも着目し、またご家族様からもその方の生活環境など情報収集し、支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者お一人お一人の生活環境やペース、心身状態を大切にし、把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人本位にてご家族様、GH内職員だけでなく、主治医、各専門職、地域との連携をとり、意見交換や情報共有し、現状に即した介護計画作成に努めている。	入居時に本人・家族からの意向を聞き取り、職員・主治医の意見を取り入れて入れた介護計画となっている。変更があればその都度見直しを行い、変化が見られなくても6ヶ月毎に定期的に見直しをして現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の流れ（食事、入浴、リハビリなど）だけでなく、その方の細かな変化や言われた言葉、スタッフカンファでの内容、訪問看護師への相談、援助内容も細かく記載し、介護計画の見直し、実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスにとらわれず、その方が、その時に必要としている事は何かに着目し、常に考え、アセスメント、モニタリング、ご家族様の満足度など、支援内容を変えたりする努力をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の支援（民生委員、消防、小学校行事参加など）をとうして、協力を頂きながら、安心した暮らしが実施できている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医、訪問看護、併設された病院と連携し、時間外でも主治医に対応していただいたり、本人、ご家族のご希望に添えるよう、また医療が必要となった場合の体制も十分に説明したうえで、安心していただけるよう支援している。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診支援をおこなっているが、入所時に併設の病院に変更される利用者が多い。併設の法人医療機関や協力医療機関とは連携がとられている。定期受診後の結果報告は家族へもしっかりと報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様の状態の早期発見に努め、変化時（日中、夜間）すぐに状態の連絡、相談、援助にて、適切な看護が受けられる様に支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>契約時においても本人様、ご家族に入院、医療が必要となった場合の体制の説明を十分に行い、病院関係者にも随時情報共有、連絡相談を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合における方針を契約時にも説明、同意をいただいているが、実際支援対象となった場合、再度、支援計画をたて、本人様、ご家族様と早い段階から話し合い、全体で支援できるよう努めている。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し入居時にホームの方針として説明し、本人や家族からは同意書をもらっている。入居後に看取り状況になった場合は、状況に応じ主治医・家族・職員と話し合い全体で共有し支援できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時や急変に備え、緊急マニュアルにてすぐ対応できるよう努めている。日中、夜間を想定した避難訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、日中、夜間を想定した避難訓練を行い、災害対策マニュアルの定期的な見直し（利用者様の担送、護送などの見直しなど）を行っている。また非常時に備えて、非常食の備蓄をしている。また運営推進会議において地域の方々の参加も依頼している。	年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。スプリンクラーや火災報知機等の設置、非常時の備蓄も整っている。地域の住民には運営推進会議で参加依頼している。消防署・地域住民からの協力体制は築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格、想いを尊重し、プライバシーの保護に努め誇りやプライバシーを損ねない言動に努めている。	職員採用時にはプライバシー・個人情報保護については十分な研修をし、日常のケアについては人格を尊重した声掛けや対応を心がけるように職員全員努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望を表示され易くし、自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の思いや、その方のペースを大切に、職員ペースにならないように職員同士も声掛け、見直しを行いながら利用者様の希望にそえるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の個性を大切に、好みや季節にあわせながら清潔に保てるように支援している。また、目が不自由な方に対しても洋服の説明や実際に触ってもらい、選んでいただくような支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が一番楽しいと思われるよう、利用者様の好みや力を活かしながら、個々の特性を把握し、彩りや食べやすい形態、季節を感じられるような旬なものを提供したりするなど努めている。また安全に配慮し、できる範囲で食事の配膳や、盛り付けもしていただいている。 13	入所時の嗜好調査や家族からの聞き取り等で、利用者の好みを把握している。4ヶ月毎に花見・ソーメン流しの外食や近隣の公園で弁当を摂ったり、誕生会ではチラシ寿司を提供したりしている。家族が外食に連れて行くこともある。可能な方には配膳も手伝ってもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士と連携、栄養バランスを考慮し、水分摂取等については職員全員共有し、判断してケアに努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔の清潔保持、衛生管理をしっかりとし、その方の口腔状況や、身体状況に合わせて、介助、確認を行い、自立支援している。また、協力機関において訪問歯科往診との連携体制を整えている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限り、トイレにおいて排泄して頂き、その方の排泄パターンを観察し、自立支援にむけた支援を行っている。	排泄チェック表を活用しているが、時間誘導に拘らず、自然のままの自立支援に向けている。利用者の様子や表情で確認し、さりげない声掛け誘導で自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事提供においても、その方の病歴や体調に考慮し、バランスのとれた食事や、繊維物の多い食事、水分補給の検討の提供をとり入れることで、便秘の予防への支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を楽しんでいただくため、利用者様個々に応じた入浴、時間帯の検討、言葉かけを行い、支援している。	基本は週3回となっているが、利用者の希望を考慮し自由に使ってもらっている。入浴をためらう利用者には担当を変えたり、清拭に変えたり等柔軟に対応している。異性介助はその方に合わせ対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の生活習慣や体調等の状況に応じて声掛けしたり、不眠の方へ睡眠パターンを観察し、医師とも連携、相談し、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の薬の目的、用法、用量を職員全員が情報共有し、服薬時、配薬時も確認しながら服用して頂いており、服薬後も副作用がないか、状態の早期発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々を楽しく過ごせるように、個々に応じたレクリエーションを実施し、職員も一緒になって実施し、気分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様からの外出、外泊は随時行えるよう支援しており、定期的な外出行事の他に、ご利用者様の希望に応じて、公園に散歩にいたり、支援に努めている。外出行事もご家族様、参加型の行事を取り入れ、一緒に家族と過ごす時間がもてるよう支援している。	散歩や近隣スーパーへの買い物へは利用者一人ひとりに合わせて、日常的に希望に応じて外出支援している。年間計画の中に家族も同行の花見やソーメン流し等を取り入れ、家族の協力をもらいながら利用者が家族と出掛け過ごせるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>当GHではお金の管理は職員が行っているが、希望時は近くのスーパーに買い物に行き、買い物を楽しめる支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご利用者様のご希望に応じ、ご家族様へ電話したり、手紙を書いたりできるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様にとって、不快や混乱を招かないよう、環境整備を行い、建物に関する故障や不備に関しては法人にすぐ報告し、対応を行い、ご家族様にもご協力いただき、本人様の住みやすい環境づくりの支援を行っている。</p>	<p>大型テレビが置いてあり、利用者が奏でる電子ピアノも在り、開放的でとても明るいリビングである、壁には利用者と職員がいっしょに作成した作品が飾ってある。街中ではあるが不快音も聞こえず、高層階から見渡せる景色は馴染みの景色となり落ち着かせてくれる。トイレと浴室は繋がっており、プライバシーにも気配りされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様のプライバシーの保護や、居場所づくり、意思を尊重し、リビングや居室など、思い思いに過ごせる環境や見守りの支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様、ご家族様のご希望を聞きながら、使い慣れたものをもってきていただいたり、家具な配置など、ご本人が居心地良く過ごせるよう支援している。</p>	<p>ベッド・タンス・洗面所・防火カーテン以外は、利用者や家族の希望に合わせ、使い慣れたものを自由に持ち込みでき、利用者が居心地よく過ごせるように家具も配置されている。空調は各部屋で調整できるようになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人様の残存機能を生かし、すべて職員が介助や案内をするのではなく、文字や絵で表示したりしながら、できるだけ自立した生活が送れるように支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="checkbox"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/>	1 毎日ある
		<input checked="" type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="checkbox"/>	3 たまにある
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない